

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		管理栄養学科／食品開発科学科		
科目名称	英語Ⅱ						授業形態			
科目コード	141800	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	ブライアン・スモール								ICT活 用	
授業概要	授業の目的は広く使える言葉を創造的に使えるようになることである。 動詞（Acts）を4つと前置詞（Directives）を5つで自由自在にセンテンスを組んで、 英語で多くの表現できること。 日常の状況を英語で表現できるようになる。 食に関する状況を具体的な英語で表現できるようになる。									
関連する科目										
授業の進め方 と方法	1. ライブ シチュエーション： 実際の物と動作で言葉・センテンスの意味を見て、経験する。 2. ペアワーク： 小グループで実物を使って、動作しながら言葉を使う。 3. 線画： ホワイト・ボードで線画を見て、経験した言葉・センテンスを言う、書く。 3. ワークシート： A4紙のシチュエーションの線画に合わせて、文を書く。 4. 回収： ワークシートの学籍番号と氏名を見て名簿を記入する。 b. 先生がワークシートを訂正して返します。 次回の授業の始めに学生が教室に入ったら、 ワークシートを参考（復習）にする。									
授業計画 【第1回】	English Through Pictures(絵で見る英語1 EP1) pages 1-7 I/You/He/She/It/The, am/is/are here/there									
授業計画 【第2回】	EP1 pages 11-13 This/That/These/Those, my/your/his/her, hand(s)/head/hat(s)/pen...									
授業計画 【第3回】	EP1 pages 8-10 a/the, in/on, table/seat/box...									
授業計画 【第4回】	4. EP1 pages 14,16 on/off, will take/is taking/took									
授業計画 【第5回】	EP1 pages 15 will put/is putting/put,									
授業計画 【第6回】	EP1 pages 14-16, 21 expansion it/them, was/were, “put ~ in”, “take ~ from “									
授業計画 【第7回】	EP1 pages 17-18, Re-view 1. a/the, man/woman/men/women... 2. Mid-term Re-view Test									
授業計画 【第8回】	EP1 pages 19-21 will give/is giving/gave, to, was									
授業計画 【第9回】	EP1 pages 22-23 water, bottle, glass, cup..									
授業計画 【第10回】	EP1 pages 24-25 an/a/the, an, arm/hand/thumb/fingers/head/nose/eyes/mouth/ears..									

授業計画 【第11回】	EP1 pages 25, 26-27, 28 a/the, its, of
授業計画 【第12回】	EP1 pages 10, 26, 28 a/the, thumb/door/floor, windows/fingers...
授業計画 【第13回】	EP1 pages 10-28 review a/the, -s, of, its
授業計画 【第14回】	EP1 pages 28-29 1. at, will go/is going/went,
授業計画 【第15回】	EP1 pages 1-19, review Review: - is (am, are, was, were), take (taking took), put, give, go, - off, on, to, from, at, in
授業の到達目標	「絵で見る英語」の少ない言葉とシンプルそうな文章を通じてよりも多くの英単語と文章型を使って、より深く言語と学びを考えるようになること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	「絵で見る英語」を熟読し、授業で経験した内容を把握する」 「把握した内容から、次回のステップを推測する。ギリギリだけでまだ言えない場面はどんな場面か考える」
授業時間外学習【復習】	「把握したセンテンスをどれぐらいの場面に応用できるか考える。」 「教科書の展開のしかたと授業の展開が違う場合はどこが違うか、比較して一步一步の学習プロセスを考える」 「授業で紹介したオンラインでフリーなトランスクリプト（リーディング）とビデオ（リスニング）を参照にする。」 「授業で紹介した作家のエッセーや本などを読んで考える」
課題に対する フィードバック	ワークシートの線画に書く文の訂正。独自の線画と文章の訂正。ワークシートの感想・コメント欄の返事
評価方法・基準	授業とワークシートの努力20点、定期テスト80点
テキスト	「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」 I・A・リチャーズ（共著）、クリスティン・ギブソン（共著）
参考書	「FIRST Steps in Reading English」絵で読む英語」 - I・A・リチャーズ（著者）、クリスティン・ギブソン（著者）
備考	「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」 ワークシートの字籍番考と氏名が出席管理に使用する。 一步一步、段階的に英語を習うので、問題解決パターンと発見型の習い方はどんな科目・分野にも通用する。 ワークシートの様子を見てから内容・順番を変えることがある。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	英語Ⅱ						授業形態		演習	
科目コード	141800	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	水島 孝司								ICT活 用	
授業概要	この授業では、TOEICテストの初級・中級者向けであるTOEIC Bridgeテストの特徴、出題形式を理解し、スコアアップに必要な英語運用能力を身につけることを目的とする。TOEIC Bridgeテストで55～60点を目指す上で基礎となる文法、語彙、リスニングを中心に学ぶ。									
関連する科目	英語Ⅰ									
授業の進め方 と方法	・ 授業は教科書に沿って進めるので、事前に該当のユニットを予習しておくこと。 ・ 原則として、1回の授業で1つのユニットをこなす。 ・ 第3回から第14回までは、毎回の授業で小テスト（単語・文法）を実施する。 ・ 授業のはじめに、トレーニングのコツ（Training Tips）を説明し、その後、問題を解き、解説をする。 ・ ペアワーク、グループワークで復習の成果（Training Tips）などを確認するので、積極的に参加してほしい。									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション（授業の概要、評価方法、教科書を使った予習のしかたなどについての説明）									
授業計画 【第2回】	Unit 1 L: 身の回りの物・場所の名称 R: 同一品詞の語彙問題（動詞）									
授業計画 【第3回】	Unit 2									
授業計画 【第4回】	Unit 3									
授業計画 【第5回】	Unit 4									
授業計画 【第6回】	Unit 5									
授業計画 【第7回】	Unit 6									
授業計画 【第8回】	Unit 7									
授業計画 【第9回】	Unit 8									
授業計画 【第10回】	Unit 9									

授業計画 【第11回】	Unit 10
授業計画 【第12回】	Unit 11
授業計画 【第13回】	Unit 12
授業計画 【第14回】	Unit 13
授業計画 【第15回】	TOEIC Bridge テスト受験
授業の到達目標	①TOEIC Bridge®テスト55～60点を取得するのに必要な英語運用能力を身につける。【汎用的技能】 ②リスニング、およびリーディングの出題傾向についての理解を深め、問題を解くスピードを上げることができる。【汎用的技能】 ③自律的かつ継続的に学習する習慣を身につける。【態度・志向性】
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	・指定範囲の単語・英文を覚えて、小テストに備える。（60分程度）
授業時間外学習【復習】	・新しく習った単語・文法を復習し、確認する。（30分程度）
課題に対する フィードバック	小テストの採点結果返却は翌週の授業時間において行う。
評価方法・基準	授業中の活動への参加度(30点)、期末試験(20%)、小テスト(30%)、スピーキングテスト(10点)、TOEIC Bridgeテストのスコアの伸び(10%)
テキスト	「TOEIC Bridgeで学ぶ入子基礎英語」(高山万樹著、南雲堂)
参考書	「TOEIC Bridge Listening & Reading公式ガイドブック」(国際ビジネスコミュニケーション協会編著、2019年)
備考	